

平成29年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】新課題講習2

クラスCD	ハ-202	開講日	8月21日(月)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	心を育てるグループワーク	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	正保 春彦(しょうぼ はるひこ)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>教室内での生徒間の人間関係を発展させ、人間理解や自己表現力の発展を促す技法について演習と講義を行います。構成的グループ・エンカウンター(SGE)とインプロ(即興)を軸に、「かかわる」「理解する」「表現する」という新たな活動の枠組みを提案します。主要なエクササイズを10数件体験しながら、まずは自らが楽しむことから出発し、その上で活動の背景にある理論や実施上の注意点等について具体的に解説を行うことで、総合的な実践力を身につけます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な技法を自ら体験し、エクササイズが生徒に与える影響を理解する。</li> <li>・各技法毎の理論的背景や心理的効果の違いを理解し、効果的な実践計画を立案できる。</li> </ul>		
受講者への事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きやすい服装でご参加下さい。スカートやハイヒール等は不可とします。</li> </ul>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習4

※この講習を受講する方は ハ-104、ハ-304 を受講することができません。

クラスCD	ハ-204	開講日	8月21日(月)AM
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	発達障害児への支援に関わる最近の動向	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	勝二 博亮(しょうじ ひろあき)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	3
講習内容	通常の学級に在籍する発達障害児への支援が注目されているが、この講義では発達障害児の中でも主に学習障害(LD)と注意欠如多動性障害(ADHD)に関して、脳科学的知見も紹介しながら、具体的な発達障害児への支援方法について論じていく。		
到達目標	科学的な視点から子どもを捉えなおすことで、新たな見方で子どもを理解しようとすることができる。		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
クラスCD	ハ-204	開講日	8月21日(月)PM
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	発達障害児への支援に関わる最近の動向	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	東條 吉邦(とうじょう よしくに)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	3
講習内容	<p>発達障害に関する最近の動向について概説し、発達障害の概念と支援の基本について説明する。特に自閉症・アスペルガー症候群等の広汎性発達障害(自閉スペクトラム症)を中心に論じる。</p> <p>1)発達障害及び特別支援教育に関連する我が国の近年の施策動向について概説する。</p> <p>2)生物-心理-社会(bio-psycho-social)統合モデルから発達障害の概念を説明する。</p> <p>3)自閉症、アスペルガー症候群等の広汎性発達障害(自閉スペクトラム症)について概説する。</p> <p>4)限局性学習症(SLD)、注意欠如・多動症(ADHD)等について概説する。</p> <p>5)当事者視点からの支援について概説する。</p> <p>6)発達障害(特に自閉スペクトラム症)の支援の基本、症状の改善・軽減や予防の可能性について概説する。</p> <p>7)認定試験を実施する。</p>		
到達目標	<p>1)発達障害の概念について適切に理解できる。</p> <p>2)発達障害(特に自閉スペクトラム症)の支援の基本的事項について説明できる。</p> <p>3)特別支援教育に関する施策の動向について説明できる。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験の方法	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習6

クラスCD	ハ-206	開講日	8月21日(月)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	社会の変化と子ども	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	生越 達 (おごせ とおる)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>『社会の変化と子どもⅠ』では、子どもたちにとっての「共同性」の重要性と現代社会におけるそうした関係の行き詰まりについて具体例を挙げながら論じ、『社会の変化と子どもⅡ』では、そうした状況のなかで生まれる教育問題と対応について、具体的な事例を取り上げながら講じる。社会の変化のなかで、子どもたちの他者とのつながりがどのようになっているのか、そしてそのような他者との関係性が、どのような問題を生み、そしてそのような問題にどのように応えていったらいいのか、具体的な事例を取り上げながら考える。</p> <p>(1)子どもたちにとっての「つながり」の重要性  (2)現代社会における子どもたちの「つながり」の喪失  (3)子どもたちの問題行動:依存について考える  (4)子どもたちの問題行動:発達障害について考える  (6)子どもたちの問題行動:いじめについて考える  (7)家庭教育について考える  (8)生徒指導における教師の存在の重要性  (9)認定試験:講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>(1)近代社会を支えてきた教師の役割を知ると同時に、その役割を相対化する眼差しを身につける。  (2)子どもたちの問題行動の裏側に隠された意味を知り、またその意味を捉える子ども理解のスタイルを身につける。  (3)子どもたちの具体的な行動を理解できるようになる。  (4)事例を理解することにより、子どもたちや保護者と向き合う態度やスタイルを形成する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習10

クラスCD	ハ-210	開講日	8月21日(月)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	哲学・倫理的思考を 小学校、中学校で生かす	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	木村 競 (きむら きそう)	所属	全学教育機構
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>小学校、中学校段階から哲学・倫理的思考を行い、身につけていくということが国際的に注目されています。この哲学・倫理的思考とは、昔の哲学者・倫理学者の教説のことではなく、互いに協力しながら対話を続けて、問いを深めていく知的な探求のことを意味します。実践例も紹介しつつ、すべての教育活動で求められている言語活動の充実、「生きる力」を育てるという観点から、小学校、中学校の様々な場面での意義と可能性を考えます(講義と演習的活動を組み合わせで行います)。</p>		
到達目標	<p>1) 哲学・倫理的な思考、対話とはどのようなものを理解する。 2) 新たな教育活動を行うための手がかりを得る。</p>		
受講者への 事前連絡事項	資料プリントを配付します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用了た資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習11

クラスCD	ハ-211	開講日	8月21日(月)
対象職種	教諭		
講習科目名	身近な生命科学	講習の形態	講義と実験
担当講師名(ふりがな)	石見 幸男 (いしみ ゆきお)	所属	理学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科)	担当時間	6
講習内容	<p>ヒト細胞中には約2万種類のタンパク質が存在すると云われている。幾つかに分別できるタンパク質の機能のうち、酵素という機能を発揮するものがあります。酵素は化学反応を触媒するタンパク質で、酵素の非存在下ではほとんど進まない化学反応を媒介します。細胞内で遺伝子からタンパク質へ変換される過程を食生活と関係づけて説明した後、実験で、ジャガイモに含まれる、酸性ホスファターゼ(脱リン酸酵素)の活性測定を行います。</p> <p>午前は、主に講義を、午後は主に実験と試験を行います。</p>		
到達目標	<p>食生活と細胞内で遺伝子からタンパク質へ変換される過程との関係を理解する。タンパク質の一種である酵素の働きを理解するとともに、酵素活性が測定でき、その結果をグラフに図示できること。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白衣を使用しますので、お持ちの方は持参してください。 (貸出用の白衣がございますが、数やサイズに限りがございます)</li> <li>・筆記具と方眼紙をご用意ください。</li> <li>・可能であれば保護眼鏡(通常の眼鏡で代用可)を用意してください。</li> </ul>		
成績評価の方法	筆記試験 (実験結果を示したグラフ図作成を含む)	認定試験に関して	講習で使用した資料とノートは持ち込み可です。

【選択】新課題講習12

クラスCD	ハ-212	開講日	8月21日(月)
対象職種	教諭		
講習科目名	理科から分子シミュレーションへ	講習の形態	講義・実験
担当講師名(ふりがな)	東 美和子(ひがし みわこ)	所属	工学部
主な受講対象者	中・高教諭(理科)	担当時間	6
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の「物理/(4)原子/ア-電子と光/(ア)電子, (イ)粒子性と波動性」について講義する。</li> <li>・学習指導要領の「化学基礎/(2)物質の構成/ア-物質の構成粒子/(ア)原子の構造, (イ)電子配置と周期表」について講義する。</li> <li>・学習指導要領の「化学基礎/(2)物質の構成/イ-物質と化学結合/(ウ)分子と共有結合」について、分子シミュレーションと関連つけて講義する。</li> </ul>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子や分子のミクロな世界について、理解を深めることができるようになる。</li> <li>・最近の分子シミュレーションの発展をふまえて、原子および分子の構造について中学生・高校生にわかりやすく説明できるようになる。</li> </ul>		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習13

クラスCD	ハ-213	開講日	8月21日(月)AM
対象職種	教諭		
講習科目名	窒素循環と霞ヶ浦を例とした水環境の問題	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	黒田 久雄 (くろだ ひさお)	所属	農学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科・農業)	担当時間	3
講習内容	地球環境問題の一つとして窒素循環の問題が大きくなってきている。窒素の不均衡は環境に多大な影響を与える。霞ヶ浦(北浦)流域を例として、総合的流域管理の面から霞ヶ浦の水環境問題に影響を与える窒素問題について多面的な視点で問題をとらえる。		
到達目標	地球規模の窒素循環問題を認識できる。 霞ヶ浦の水環境が流域問題が大きな点であることを理解する。 環境問題を多面的な視点でとらえることができるようになる。		
受講者への事前連絡事項	茨城県霞ヶ浦環境科学センターホームページの霞ヶ浦への招待または霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画(第7期)を読んでおいてもらえると講義の背景が理解できます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

クラスCD	ハ-213	開講日	8月21日(月)PM
対象職種	教諭		
講習科目名	アルコール発酵のしくみと利用	講習の形態	講義・実験
担当講師名(ふりがな)	小島 俊雄 (こじま としお)	所属	農学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科・農業)	担当時間	3
講習内容	アルコール発酵は、酸素の少ない環境で糖質から二酸化炭素とアルコールを生成する代謝プロセスです。本講習では、酵母におけるアルコール発酵を生化学的に示しながら、微生物や酵素を用いた食品への利用や燃料用アルコールの生産などについて解説します。		
到達目標	アルコール発酵を化学反応で説明できる。 アルコール発酵に関わる身近な食品やバイオエタノールの生産などについて説明できる。		
受講者への事前連絡事項	講義とともに、簡単な発酵実験を行います。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。